

2月議会終わる(3月20日)

市民に願い実現に奮闘

日本共産党名古屋市議団

2月定例会は2014年度一般会計予算など48議案(予算関連議案のみ)を可決し、閉会しました。

市民犠牲の19議案に反対

日本共産党名古屋市議員団は、名古屋市病院事業会計予算など30議案に賛成。しかし、市民に負担増を強いるとともに、市民サービスと行政責任を後退させる一方で、大企業・大金持ち優遇の市民税減税を続けながら、名古屋駅前開発など新たな税金の浪費につながりかねない大型開発を推し進める一般会計予算案など19議案に反対しました。

日本共産党名古屋市議団は、国の悪政から住民を守る防波堤となり、暴走政治にストップをかけ、住民の暮らしを守る市政実現に全力をあげます。

意見書3件を提案・・・日本共産党

意見書は3件を採択しました。各会派から12件が提案され、党市議団が提案した「特定秘密保護法の撤廃」「アジア近隣諸国との平和で安定した外交関係の構築」「障害年金の受給資格要件の見直し」の3件の意見書は、他会派の反対でいずれも成立しませんでした。

可決された意見書は「ウイルス性肝炎患者等に対する医療費助成の拡充」「ドクターヘリの運航に係る人材の

実現した市民要望

- ・環境科学センターへの空間放射線量測定機器の整備
- ・第三児童相談所を視野に入れた児童相談所の体制整備調査
- ・名鉄「豊田本町」駅のエレベーター等の設置
- ・民間特養ホームの整備補助、新築7か所、437人
- ・小学校の普通教室の冷房化。設計・工事費(2013補正で55億円)など

不要不急の公共事業(金額は2014年度分)

- ・金城ふ頭開発 2億5800万円
- ・名古屋駅周辺の巨大地下通路 8億8900万円
- ・SL等による都市魅力向上策検討 1000万円
- ・リニア開業を見据えた計画策定 6000万円
- ・天守閣木造再建の調査 1700万円



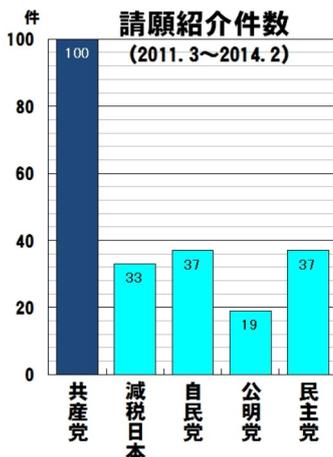
市民サービスの低下・負担増

- ・後期高齢者医療保険料値上げ。年間一人2622円の負担増
- ・低所得者が多い市営住宅の駐車場を値上げ
- ・70歳からの医療費負担が2倍に。一人年間5万1千円の負担増
- ・公立高校授業料無料制度に所得制限。市立高校で28%が負担
- ・消費税転嫁による水道料金や市バス・地下鉄などの値上げ
- ・公立保育園の民間委託準備(矢田・東志賀・田幡・振甫・御田・南・氷室・にじが丘・東栄保育園など)

養成・確保」「子宮頸がん予防ワクチンの接種後に生じた健康被害の早期解決」に関する意見書です。

減税が28人から15人 市議会は16会派に

減税日本ナゴヤは不祥事などで次々と会派離脱が相次ぎ、今や15人。11会派14人の諸派が誕生しました。



名古屋市議会の会派の変遷(2011年3月~2014年4月)

